



## 2020年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月22日

上場会社名 コーセル株式会社

上場取引所 東

コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

定時株主総会開催予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

2020年7月21日

有価証券報告書提出予定日 2020年8月12日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期の連結業績(2019年5月21日～2020年5月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	23,865	14.4	1,668	50.3	1,636	50.3	264	87.6
2019年5月期	27,876	4.8	3,355	28.7	3,296	31.7	2,130	34.7

(注) 包括利益 2020年5月期 351百万円 ( %) 2019年5月期 1,751百万円 ( 50.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	7.61		0.7	3.8	7.0
2019年5月期	59.41		5.3	7.4	12.0

(参考) 持分法投資損益 2020年5月期 百万円 2019年5月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	42,252	38,256	90.4	1,102.67
2019年5月期	44,295	40,117	90.5	1,127.63

(参考) 自己資本 2020年5月期 38,215百万円 2019年5月期 40,081百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	3,022	219	1,825	8,274
2019年5月期	3,760	3,825	2,818	7,069

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年5月期		17.00		8.00	25.00	895	42.1	2.2
2020年5月期		8.00		12.00	20.00	693	262.8	1.8
2021年5月期(予想)		8.00		9.00	17.00		46.8	

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年5月21日～2021年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,200	12.6	1,060	38.3	1,070	38.3	680	325.6	19.62
通期	26,000	8.9	1,900	13.9	1,990	21.6	1,260	375.9	36.36

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期	35,712,000 株	2019年5月期	37,212,000 株
期末自己株式数	2020年5月期	1,054,697 株	2019年5月期	1,667,497 株
期中平均株式数	2020年5月期	34,792,531 株	2019年5月期	35,857,846 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年5月期の個別業績(2019年5月21日～2020年5月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	18,275	17.1	1,585	49.6	2,288	28.7	1,471	33.6
2019年5月期	22,052	11.1	3,147	24.9	3,208	27.9	2,214	27.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期	42.28	
2019年5月期	61.75	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年5月期	40,739		37,906		93.0	1,093.76		
2019年5月期	40,480		38,003		93.9	1,069.19		

(参考) 自己資本 2020年5月期 37,906百万円 2019年5月期 38,003百万円

2. 2021年5月期の個別業績予想(2020年5月21日～2021年5月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,260	15.2	920	35.3	1,230	10.4	850	23.3	24.53
通期	20,000	9.4	1,700	7.2	2,050	10.4	1,445	1.8	41.69

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料は、2020年6月22日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦の影響による中国景気減速傾向が強まったことにより、わが国を含めたアジア経済及びヨーロッパ経済も減速傾向が強まりました。さらに、米国経済についても、不安定な世界経済の影響を受け、景気見通しが徐々に悪化しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界経済の急激な減速など、先行きに対する不透明感が強まっております。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやデータセンター関連設備需要の低迷により、メモリー半導体の市況悪化が続き、半導体設備投資計画の見直しがありました。第3四半期以降は回復傾向がみられました。一方、ロジック半導体においては、高性能化要求に対応するために、大手半導体メーカーを中心に積極投資が進むとともに、情報通信機器向け第5世代移動通信システム(5G)関連の需要の立ち上がりも見られました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各国の取り組みにより、医療機器関連の需要が増加しております。

このような情勢の中で当社グループは、営業-開発部門の連携を強化しつつ、新製品を軸とした重点顧客への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、海外市場向けAC-DC電源「WMAシリーズ」、小型基板単体シングル出力AC-DC電源「LHAシリーズ」、医用電気機器規格対応マルチスロットタイプAC-DC電源拡充モデル「AME400F/800F」、1Uラック搭載可能高効率AC-DC電源「FETA3000BA」、三相交流入力用ノイズフィルタ「JACシリーズ」電流拡充モデルをそれぞれ市場投入いたしました。

開発・生産面では、当社独自のパワー回路技術やデジタル制御技術・通信技術を活かし、新製品開発力の強化を推進するとともに、生産設備の自社開発や組立工程の品質・生産性の改善により、低コスト化技術力向上の活動に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、受注高は264億43百万円(前年同期比14.6%増)、売上高は238億65百万円(同14.4%減)となりました。利益面におきましては、人件費や経費の節減効果がありましたが、売上高の減少と変動費比率の上昇により収益力が低下し、経常利益は16億36百万円(同50.3%減)となりました。また、前第1四半期連結会計期間に取得したPowerbox International ABを含めたヨーロッパ事業の再編を進め、関係会社(Powerbox Australia Pty Ltd)の株式売却及びPowerboxグループ従業員の臨時解雇費用等の事業再編損3億12百万円、投資有価証券評価損1億9百万円を計上したことに加え、法人税等調整額の増加要因もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は2億64百万円(同87.6%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1) 日本生産販売事業

日本国内では、顧客・販売店の在庫及び発注調整、半導体製造装置関連の設備投資延期、中国経済の減速の影響によって、需要の減少が続いておりましたが、第2四半期後半から在庫調整が進んだこと、半導体製造装置関連、5G関連、新型コロナウイルス対応のための医療機器関連の需要が増加しました。

このような情勢の中、営業-開発部門の連携を強化し、新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、149億71百万円(前年同期比16.2%減)、セグメント利益は15億85百万円(同47.5%減)となりました。

#### 2) 北米販売事業

米国では、米中貿易摩擦の影響に伴う生産調整や設備投資減速の影響により、需要が減少しておりましたが、第3四半期以降、半導体製造装置関連の需要が増加しました。

このような情勢の中、ファクトリーレップとの連携活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、17億48百万円(前年同期比28.6%減)、セグメント利益は1億12百万円(同63.1%減)となりました。

#### 3) ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、中国経済の減速の影響を受け、ドイツ市場を中心に需要低迷が続いており、スウェーデンに本拠点を置くPowerbox社のカスタム電源ビジネスもヨーロッパ経済の低迷を受け、低調に推移いたしました。

このような情勢の中、営業力強化に向けた体制構築準備、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、50億86百万円(前年同期比0.4%増)、セグメント損失は4億1百万円(前年同期はセグメント損失3億17百万円)となりました。

なお、当該セグメントは、前第1四半期連結会計期間にPowerbox International ABの株式取得を行い、新たに連結子会社化したことで、報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しておりますが、企業結合のみなし取得日を2018年6月30日としているため、前連結会計年度において、同社の第1四半期連結会計期間の業績は含まれておりません。

4) アジア販売事業

アジアでは、中国と韓国において、顧客・販売店の在庫及び発注調整と中国経済の減速の影響によって、需要の減少が続いておりましたが、第2四半期以降に在庫調整が進んだこと、半導体製造装置関連、新型コロナウイルス対応のための医療機器関連の需要が増加しました。

このような情勢の中、ターゲット業界・顧客を絞り、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、20億59百万円（前年同期比17.7%減）、セグメント利益は51百万円（同40.8%減）となりました。

5) 中国生産事業

中国生産事業においては、新製品の量産開始と受注増加に伴う生産能力の増強および開発力強化のため、新工場の稼働準備を進めてまいりました。中国本土での新型コロナウイルス感染症拡大により一時的な工場操業停止の影響があったものの、中国政府指導の下、操業を開始しております。また、医療機器関連の需要拡大に伴い、生産体制の増強を実施しております。

この結果、セグメント間の内部売上高は、11億53百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は2億3百万円（同14.7%増）となりました。

(参考) 製品別の業績

1) 受注高及び受注残高

	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)		当連結会計年度末 (2020年5月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品				
ユニット電源	14,555	18.4%	3,892	98.4%
オンボード電源	6,319	△0.3%	1,763	14.2%
ノイズフィルタ	1,224	28.5%	302	162.2%
P R B X製品 (※1)	4,344	(※2) 24.7%	2,452	10.8%
合計	26,443	14.6%	8,410	44.2%

2) 売上高

	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品		
ユニット電源	12,624	△15.2%
オンボード電源	6,099	△24.9%
ノイズフィルタ	1,037	△4.1%
P R B X製品 (※1)	4,104	(※2) 8.6%
合計	23,865	△14.4%

(※1) P R B X製品：Powerbox International ABが開発、製造、販売する製品群

(※2) Powerbox International AB株式のみなし取得日を2018年6月30日としているため、前連結会計年度における第1四半期連結会計期間には、P R B X製品の受注及び売上実績は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は237億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億64百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が12億4百万円、受取手形及び売掛金が1億24百万円、有価証券が21億円増加した一方で、たな卸資産が6億77百万円減少したことによるものであります。

固定資産は185億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億7百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が1億40百万円、のれん等の無形固定資産が5億18百万円、投資有価証券が34億17百万円、繰延税金資産が3億53百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は422億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億43百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は32億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少いたしました。これは主に、リース債務が55百万円、賞与引当金が36百万円増加した一方で、買掛金が1億90百万円、短期借入金が2億63百万円、未払金が37百万円、製品保証引当金が1億6百万円減少したことによるものであります。

固定負債は7億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は39億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億81百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は382億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億61百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益2億64百万円、剰余金の配当5億61百万円、自己株式の取得9億99百万円等により、株主資本が12億71百万円減少し、為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が5億93百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は90.4%（前連結会計年度末は90.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億4百万円増加し、82億74百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、30億22百万円（前年同期比19.6%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益11億69百万円、減価償却費12億55百万円、事業再編損3億13百万円、棚卸資産の減少額5億72百万円、法人税等の支払額5億79百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、2億19百万円（前年同期は使用した資金38億25百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入12億円を計上した一方で、有形固定資産の取得による支出9億8百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、18億25百万円（同35.2%減）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出10億2百万円、配当金の支払額5億62百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年 5月期	2017年 5月期	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期
自己資本比率 (%)	92.0	90.4	88.7	90.5	90.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	110.2	120.2	117.1	86.5	72.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	0.1	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	164.2	387.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 2016年5月期から2018年5月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、当該連結会計年度において有利子負債がありませんでしたので記載していません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が長期化する懸念や米中貿易摩擦、英国の欧州連合離脱等、世界経済の不確実性や国際政治情勢の混迷が強まっており、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社グループが属するスイッチング電源市場を取り巻く環境としては、半導体製造装置関連で一部回復の兆しや医療機器関連の需要動向が見られるものの、産業機器全般の需要回復が遅れる等、先行きは不透明な状況であります。

このような環境の下で、当社グループは経営理念である「品質至上」を核に、品質保証体制の強化と受注変動に強いものづくり体制の構築、新製品開発力強化に取り組むとともに、売上拡大に向けて、顧客密着営業活動と新製品拡販活動に注力してまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が、下期以降回復に向かうと想定し、売上高260億円、経常利益19億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12億60百万円を予想しております。

(5) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

当社グループは、日本、中国及びアジア、北米、欧州において生産及び販売活動を行っており、新型コロナウイルス感染拡大の影響が既に一部において発生しております。今後、さらに感染症が拡大、長期化した場合には、調達先である各国・各地域の主要材料メーカーの操業状況や物流状況から部品材料が調達困難となり、生産稼働に影響を及ぼす可能性があり、また当社グループや製造委託協力会社の従業員が感染した場合、従業員の自宅待機等により工場の操業停止を余儀なくされ、市場に製品を供給できなくなることから業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社グループでは、感染拡大防止と事業継続の体制維持の観点から、従業員等の健康・安全確保のため、対処要領を作成・周知し、部門によっては社外活動の自粛や在宅勤務、オフピーク出勤など感染リスクの低減に向けた諸施策を実施しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しておりますが、国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当連結会計年度 (2020年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,069,506	8,274,316
受取手形及び売掛金	7,208,151	7,332,942
有価証券	1,200,000	3,300,000
商品及び製品	1,842,792	1,314,902
仕掛品	230,656	244,524
原材料及び貯蔵品	3,007,193	2,844,054
その他	522,234	432,196
貸倒引当金	△15,126	△13,515
流動資産合計	21,065,408	23,729,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,506,200	6,443,367
減価償却累計額	△2,875,146	△2,933,434
建物及び構築物 (純額)	2,631,054	3,509,933
機械装置及び運搬具	7,298,413	7,345,781
減価償却累計額	△5,308,395	△5,726,265
機械装置及び運搬具 (純額)	1,990,017	1,619,516
工具、器具及び備品	5,758,388	5,745,104
減価償却累計額	△5,234,426	△5,269,722
工具、器具及び備品 (純額)	523,961	475,382
土地	1,191,800	1,160,362
リース資産	-	191,966
減価償却累計額	-	△48,053
リース資産 (純額)	-	143,912
建設仮勘定	870,461	157,939
有形固定資産合計	7,207,296	7,067,046
無形固定資産		
ソフトウェア	60,370	34,223
技術資産	739,961	609,948
顧客関連資産	939,748	807,832
のれん	1,451,715	1,238,605
その他	43,089	25,934
無形固定資産合計	3,234,885	2,716,544
投資その他の資産		
投資有価証券	11,625,910	8,208,578
退職給付に係る資産	149,418	153,425
繰延税金資産	622,456	268,621
その他	390,234	108,718
投資その他の資産合計	12,788,020	8,739,344
固定資産合計	23,230,202	18,522,934
資産合計	44,295,610	42,252,355



(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当連結会計年度 (2020年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,523,332	1,332,862
短期借入金	263,540	-
未払金	307,261	269,746
リース債務	-	55,418
未払法人税等	112,625	121,422
賞与引当金	325,052	361,960
製品保証引当金	325,000	219,000
その他	554,405	922,633
流動負債合計	3,411,218	3,283,044
固定負債		
繰延税金負債	335,282	268,450
退職給付に係る負債	251,914	215,443
リース債務	-	85,962
その他	179,222	142,795
固定負債合計	766,419	712,652
負債合計	4,177,638	3,995,696
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,279,881	2,279,881
利益剰余金	37,588,618	35,545,289
自己株式	△1,980,525	△1,209,048
株主資本合計	39,942,974	38,671,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,685	186,370
為替換算調整勘定	△64,664	△643,460
退職給付に係る調整累計額	10,198	1,456
その他の包括利益累計額合計	138,219	△455,633
非支配株主持分	36,778	41,169
純資産合計	40,117,972	38,256,659
負債純資産合計	44,295,610	42,252,355

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
売上高	27,876,518	23,865,405
売上原価	19,448,980	17,152,989
売上総利益	8,427,538	6,712,415
販売費及び一般管理費	5,072,388	5,044,336
営業利益	3,355,149	1,668,079
営業外収益		
受取利息	38,128	27,544
受取配当金	43,249	49,549
受取補償金	-	24,904
その他	43,006	40,291
営業外収益合計	124,384	142,289
営業外費用		
支払利息	22,904	7,807
為替差損	153,984	159,203
自己株式取得費用	2,570	2,739
その他	3,839	3,975
営業外費用合計	183,298	173,726
経常利益	3,296,235	1,636,642
特別利益		
固定資産売却益	16,002	388
補助金収入	-	54,000
受取保険金	138,296	-
特別利益合計	154,299	54,388
特別損失		
固定資産売却損	816	27,038
固定資産除却損	12,602	1,558
投資有価証券評価損	-	109,432
火災損失	138,296	-
関係会社支援損	35,995	-
関係会社出資金評価損	-	70,572
事業再編損	-	312,869
特別損失合計	187,710	521,471
税金等調整前当期純利益	3,262,824	1,169,559
法人税、住民税及び事業税	956,934	597,528
法人税等調整額	157,829	326,339
法人税等合計	1,114,764	923,867
当期純利益	2,148,060	245,691
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	17,675	△19,083
親会社株主に帰属する当期純利益	2,130,385	264,775

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
当期純利益	2,148,060	245,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281,442	△6,314
為替換算調整勘定	△129,621	△582,552
退職給付に係る調整額	14,056	△8,742
その他の包括利益合計	△397,008	△597,609
包括利益	1,751,051	△351,917
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,731,498	△329,078
非支配株主に係る包括利益	19,553	△22,839

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,055,000	2,288,350	36,644,408	△1,523,058	39,464,699
当期変動額					
剰余金の配当			△1,186,175		△1,186,175
親会社株主に帰属する当期純利益			2,130,385		2,130,385
自己株式の取得				△457,466	△457,466
自己株式の消却					-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△8,468			△8,468
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△8,468	944,209	△457,466	478,274
当期末残高	2,055,000	2,279,881	37,588,618	△1,980,525	39,942,974

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	474,128	79,830	△3,857	550,101	27,171	40,041,972
当期変動額						
剰余金の配当						△1,186,175
親会社株主に帰属する当期純利益						2,130,385
自己株式の取得						△457,466
自己株式の消却						-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△8,468
連結範囲の変動						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△281,442	△144,495	14,056	△411,882	9,607	△402,275
当期変動額合計	△281,442	△144,495	14,056	△411,882	9,607	75,999
当期末残高	192,685	△64,664	10,198	138,219	36,778	40,117,972

当連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,055,000	2,279,881	37,588,618	△1,980,525	39,942,974
当期変動額					
剰余金の配当			△561,614		△561,614
親会社株主に帰属する当期純利益			264,775		264,775
自己株式の取得				△999,992	△999,992
自己株式の消却			△1,771,470	1,771,470	-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
連結範囲の変動			24,981		24,981
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△2,043,328	771,477	△1,271,851
当期末残高	2,055,000	2,279,881	35,545,289	△1,209,048	38,671,123

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	192,685	△64,664	10,198	138,219	36,778	40,117,972
当期変動額						
剰余金の配当						△561,614
親会社株主に帰属する当期純利益						264,775
自己株式の取得						△999,992
自己株式の消却						-
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						-
連結範囲の変動						24,981
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△6,314	△578,796	△8,742	△593,853	4,390	△589,462
当期変動額合計	△6,314	△578,796	△8,742	△593,853	4,390	△1,861,312
当期末残高	186,370	△643,460	1,456	△455,633	41,169	38,256,659

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,262,824	1,169,559
減価償却費	1,322,363	1,255,547
のれん償却額	138,237	160,155
事業再編損	-	313,249
関係会社出資金評価損	-	70,572
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△387,000	△106,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△88,560	37,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,756	△571
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4,326	△20,499
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	22,014	△30,038
受取利息及び受取配当金	△81,377	△77,093
受取保険金	△138,296	-
補助金収入	-	△54,000
支払利息	22,904	7,807
為替差損益(△は益)	79,906	77,820
有形固定資産売却損益(△は益)	△15,186	26,650
有形固定資産除却損	12,602	1,558
売上債権の増減額(△は増加)	2,383,436	△279,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	△378,518	572,758
仕入債務の増減額(△は減少)	△454,336	△55,433
その他	△181,980	518,011
小計	5,525,462	3,588,284
利息及び配当金の受取額	82,964	78,378
補助金の受取額	-	54,000
利息の支払額	△22,904	△7,807
事業再編による支出	-	△110,749
法人税等の支払額	△1,947,875	△579,164
保険金の受取額	122,900	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,760,547	3,022,941
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,164	△1,186
投資有価証券の償還による収入	2,200,000	1,200,000
有形固定資産の取得による支出	△3,582,845	△908,426
有形固定資産の売却による収入	30,068	21,674
定期預金の払戻による収入	300,000	-
非連結子会社出資金の払込による支出	△27,552	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,694,014	-
事業譲受による支出	-	△72,672
その他	△49,985	△19,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,825,493	219,663

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,671	21,094
短期借入金の返済による支出	△337,303	△224,097
長期借入金の返済による支出	△783,032	-
リース債務の返済による支出	-	△52,343
自己株式の取得による支出	△460,037	△1,002,731
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△53,524	-
配当金の支払額	△1,184,866	△562,059
非支配株主への配当金の支払額	△2,367	△5,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,818,461	△1,825,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,665	△211,690
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,872,743	1,205,630
現金及び現金同等物の期首残高	9,942,249	7,069,506
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△819
現金及び現金同等物の期末残高	7,069,506	8,274,316

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、直流安定化電源の製造・販売を主たる事業としている専門メーカーであります。

国内における製造・販売事業を当社が担当しております。海外においては北米地域(米国、カナダ)の販売事業をCOSEL USA INC. (米国)、ヨーロッパ(主にドイツ、イギリス、フランス、スウェーデン等)における製造・販売事業をCOSEL EUROPE GmbH (ドイツ)及びPowerbox International AB (スウェーデン)、アジア(主に中国、韓国、インド等)の販売事業をCOSEL ASIA LTD. (香港)及び科索(上海)電子有限公司(中国)がそれぞれ担当しております。また、中国における生産事業を無錫科索電子有限公司(中国)、上海科素商貿有限公司(中国)の現地法人が担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本生産販売事業」、「北米販売事業」、「ヨーロッパ生産販売事業」、「アジア販売事業」及び「中国生産事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法」であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

ヨーロッパ生産販売事業においては、前第1四半期連結会計期間におけるPowerbox International ABの株式取得に伴い、前第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「ヨーロッパ販売事業」から「ヨーロッパ生産販売事業」に変更しております。なお、みなし取得日を2018年6月30日としているため、前連結会計年度において、同社の第1四半期連結会計期間の業績は含まれておりません。



4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

(単位: 千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,862,210	2,447,023	5,066,426	2,500,857	—	27,876,518	—	27,876,518
セグメント間の 内部売上高	4,189,948	—	—	—	1,112,850	5,302,799	△5,302,799	—
計	22,052,159	2,447,023	5,066,426	2,500,857	1,112,850	33,179,318	△5,302,799	27,876,518
セグメント利益 又は損失 (△)	3,021,679	305,176	△317,385	86,507	177,444	3,273,423	81,726	3,355,149
セグメント資産	40,174,414	1,486,711	6,197,102	1,304,071	2,314,267	51,476,567	△7,180,957	44,295,610
その他の項目								
減価償却費	1,083,596	2,286	193,702	524	42,252	1,322,363	—	1,322,363
のれんの償却額	—	—	138,237	—	—	138,237	—	138,237
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	2,232,546	2,826	3,719,606	1,237	821,539	6,777,757	—	6,777,757

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失 (△) の調整額81,726千円は、セグメント間の取引消去52,981千円及び棚卸資産の未実現損益の消去28,744千円であります。

セグメント資産の調整額△7,180,957千円は、セグメント間の債権債務消去△2,360,845千円、棚卸資産の未実現損益の消去△91,984千円、投資と資本の消去△4,728,128千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

(単位: 千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,971,694	1,748,179	5,086,307	2,059,223	—	23,865,405	—	23,865,405
セグメント間の 内部売上高	3,303,681	—	—	3,300	1,153,435	4,460,418	△4,460,418	—
計	18,275,375	1,748,179	5,086,307	2,062,524	1,153,435	28,325,823	△4,460,418	23,865,405
セグメント利益 又は損失 (△)	1,585,453	112,595	△401,681	51,202	203,583	1,551,153	116,925	1,668,079
セグメント資産	40,429,805	1,237,620	5,279,992	975,161	2,951,558	50,874,137	△8,621,781	42,252,355
その他の項目								
減価償却費	971,767	2,662	218,780	8,269	54,067	1,255,547	—	1,255,547
のれんの償却額	8,137	—	152,017	—	—	160,155	—	160,155
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	349,491	724	27,729	7,039	574,822	959,806	—	959,806

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失 (△) の調整額116,925千円は、セグメント間の取引消去79,247千円及び棚卸資産の未実現損益の消去37,678千円であります。

セグメント資産の調整額△8,621,781千円は、セグメント間の債権債務消去△3,154,012千円、棚卸資産の未実現損益の消去△65,887千円、投資と資本の消去△5,401,882千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ユニット電源	オンボード電源	ノイズフィルタ	P R B X製品	合計
外部顧客への売上高	14,891,543	8,123,290	1,081,358	3,780,326	27,876,518

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
17,862,210	2,447,023	5,066,426	2,500,857	27,876,518

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 北米……………米国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……ドイツ、イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ノルウェー、スウェーデン等
- (3) アジア他……………東アジア諸国、東南アジア諸国、インド、オーストラリア等

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
6,041,538	11,105	63,460	1,091,192	7,207,296

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
㈱リョーサン	4,235,318	日本生産販売事業

当連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	ユニット電源	オンボード電源	ノイズフィルタ	P R B X製品	合計
外部顧客への売上高	12,624,014	6,099,680	1,037,135	4,104,574	23,865,405

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
14,971,694	1,748,179	5,086,307	2,059,223	23,865,405

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 北米……………米国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……ドイツ、イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ノルウェー、スウェーデン等
- (3) アジア他……………東アジア諸国、東南アジア諸国、インド、オーストラリア等

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア他	合計
5,341,932	8,698	178,072	1,538,341	7,067,046

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
㈱リョーサン	3,445,765	日本生産販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

(単位：千円)

	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	138,237	—	—	—	138,237
当期末残高	—	—	1,451,715	—	—	—	1,451,715

当連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

(単位：千円)

	日本生産 販売事業	北米 販売事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア 販売事業	中国 生産事業	全社・消去	合計
当期償却額	8,137	—	152,017	—	—	—	160,155
当期末残高	42,370	—	1,196,234	—	—	—	1,238,605

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
1株当たり純資産額	1,127円63銭	1,102円67銭
1株当たり当期純利益	59円41銭	7円61銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	当連結会計年度 (自 2019年5月21日 至 2020年5月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,130,385	264,775
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,130,385	264,775
普通株式の期中平均株式数(株)	35,857,846	34,792,531

(重要な後発事象)

該当事項はありません。